

タイトル	表紙・目次・論文扉・奥付
著者	
引用	年報新人文学(14)
発行日	2017-12-25

新 人文学

Annual Bulletin
of the
New Humanities

Vol. 14

【巻頭言】

「新人文主義」に期待するもの
郡司 淳

【論文】

垂迹人とその意義

—「古今著聞集」における「ただ人にあらざる」人を素材に—
追塩千尋

カズオ・イングロの運命観

森川慎也

鎌倉幕府における祈雨祈禱

竹ヶ原康弘

日本語教育におけるコミュニケーションに関する
思索的転写 —ニクラス ルーマンの社会システム理論をもとに—

森 良太

〈翻訳〉

詩におけるプラトン

ベネロペ・マレー 著 テレングト・アイトル 訳

◆成果と展望【書評】

J. Bouchard, *Ideology, Agency, and Intercultural Communicative Competence: A Stratified Look into EFL Education in Japan*, Springer, 2017

Suzanne
M. Yonesaka

A. Hawkyard, *House of Commons 1509-1558: Personnel, Procedure, Precedent and Change*, Chichester, 2016

仲丸英起

【彙報】 平成二十八年年度 大学院文学研究科 学位論文題目一覧
文学研究科教育・研究発表活動覧 ●編集後記



「新人文主義」に期待するもの 郡司 淳……………002

【論文】

垂迹人とその意義

追塩千尋……………010

—「古今著聞集」における「ただ人にあらざる」人を素材に—

カズオ・イシグロの運命観 森川慎也……………046

鎌倉幕府における祈雨祈禱 竹ヶ原康弘……………078

日本語教育におけるコミュニケーションに関する

森 良太……………209
(001)

思索的転写 —ニクラスルーマンの社会システム理論をもとに—

〈翻訳〉 詩におけるプラトン ペネロペマレー 著 テレングト・アイトル 訳……………173
(037)

◆成果と展望【書評】

J. Bouchard, *Ideology, Agency, and Intercultural Communicative*

Competence: A Stratified Look into EFL Education in Japan, Springer, 2017 Suzanne M. Yonesaka……………117
(093)

A. Hawkyard, *House of Commons 1509-1558: Personnel, Procedure, Precedent and Change*, Chichester, 2016 仲丸英起……………102

【彙報】

平成二十八年年度 大学院文学研究科 学位論文題目一覧……………210

文学研究科教育・研究発表活動覧……………218

編集後記……………220

年報 新 人文 学

【第十四号】

二〇一七年十二月発行
目次

Annual Bulletin
of the
New Humanities

Vol. 14

Annual Bulletin of the New Humanities

Vol. 14

December 2017

Contents

Foreword

Jun GUNSHI Future avenues in the New Humanities

Articles

Chihiro OISHIO Suijyakujn and its significance
–through the analysis of “remarkable man” in Kokonchomonjyu–

Shinya
MORIKAWA The Fatalism of Kazuo Ishiguro

Yasuhiro
TAKEGAHARA A study about the Kamakura Shogunate rainmaking rituals.

Yoshihiro MORI A transcription of the idea on the communication in the Japanese
Language Education –based on the System Theory of Niklas Luhmann–

Translation

Terenguto Aitoru P. Murray, *Plato on Poetry*, Cambridge University Press, 1997

Book Reviews

Suzanne
M. YONESAKA J. Bouchard, *Ideology, Agency, and Intercultural
Communicative Competence: A Stratified Look into EFL
Education in Japan*, Springer, 2017

Hideki
NAKAMARU A. Hawkyard, *House of Commons 1509-1558: Personnel,
Procedure, Precedent and Change*, Chichester, 2016

Notes

Editorial Notes

論文



垂迹人とその意義―『古今著聞集』における「ただ人にあらざる」人を素材に― 追塩千尋

カズオ・イシグロの運命観 森川慎也

鎌倉幕府における祈雨祈禱 竹ヶ原康弘

日本語教育におけるコミュニケーションに関する

思索的転写―ニクラスルーマンの社会システム理論をもとに― 森 良太

◆表紙の「ふくろう」について

表紙に描かれている「ふくろう」には、二重の意味が込められています。ひとつは古代アテネの「ミネルヴァのふくろう」に由来する、「知恵ないし学問」の象徴という意味です。哲学者ヘーゲルが、「ミネルヴァのふくろうは、日の暮れ始めた夕暮れとともに、はじめてその飛翔を始める」と述べたことは、つとに有名です。

もう一つの意味は、北海道に生息する天然記念物「シマフクロウ」に由来しています。シマフクロウは、北海道のなかでも手つかずの自然が残っている場所にしか生息しませんが、その表情には思慮深い哲人を思わせる威厳があります。古来アイヌの人たちは、この鳥をコタンコロカムイ（村の守護神）と呼んで神聖視してきました。

本誌は、この「ミネルヴァのふくろう」と「シマフクロウ」にあやかっ、北の大地から新しき学問の地平をきり拓くべく、大いなる飛翔の場たらんとするものです。

年報 新人文学〔第十四号〕 Annual Bulletin of the New Humanities

発行日——平成二十九（二〇一七）年十二月二十五日 発行

編集者——北海道大学大学院文学研究科『年報 新人文学』編集委員会

北海道大学大学院文学研究科内

〒〇六二―八六〇五 北海道札幌市豊平区旭町四丁目一 番四〇号

電話（〇二）八四一―二六二〔代表〕 FAX（〇二）八二四―七七二九

編集委員——中川かず子・柴田 崇

発行者——菅 泰雄

発行所——北海道大学大学院文学研究科 札幌市豊平区旭町四丁目一 番四〇号 電話（〇二）八四一―二六二〔代表〕

